

質の高い教育の実現性

宮城県仙台第三高等学校 52班

テーマ設定の理由と教育の現状

- ・SDGsの一つである、「質の高い教育をみんなに」に興味を持ち、教育はどのようになっているのか疑問に思った。
- ・調べてみたところ、自分たちの予想と全く異なっていたため、もっと知るべきであると考えた。
- ・フィンランドの教育水準が世界一。（読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの分野で好成績を残している。この三分野の中で私達は読解力に着目。）
- ・現在求められている読解力は、情報の真偽を見抜く力、複数の資料を比べて読む力、心を読み取る力、意思決定の力の4つ。
- ・今までの読解力向上プロジェクトはこれらの能力を十分に高められていなかったのではないかと考えた。

計画と作成

読解力向上プロジェクト改良版の作成

- ◎今までの読解力向上プロジェクト
 - ・文章中から抜き出すが多かったり、資料が提示され、それを読み取る問題が少なかったりした。
 - ・自分の意見を書くことが少なかった。
 - ・分量と時間の比率が適切でなかったために、要旨を読み取ることが難しかった。（斜め読みや飛ばし読みをする可能性が高い）速読力に重点を置いている？
 - ・そこで読解力向上プロジェクト改良版を考案



忘れてはならないのが・・・

ペアワーク

- ・他者の意見を理解するには読解力が用いられる。

相手の心情を読み取り、話すスピードや話し方を変えなければならないので、その場面でも読解力が用いられる。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/047/siryo/__icsFiles/afieldfile/2013/12/20/1342404_06.pdf

結果と反省

- ・読解力の向上を調べるに当たって、何を指標にすれば良いかが難しかった。
- ・他の二分野である数学的リテラシー、科学的リテラシーの面からのアプローチも考えてみるべきだと感じた。
- ・調査をするうえでは、しっかりと事前に調査対象の実力を調べ、点数の伸びを指標とするべきと感じた。

まとめ

- ・今後一度、読解力向上プロジェクト・改良版と従来のものとでどちらが取り組みやすくためになりそうだったかをアンケートで調べる。
- ・読解力以外の面からのアプローチを考える。
- ・外部発表などを通して、同じようなテーマで活動するグループを見つけ、良いところを取り入れ、より良い発表に仕上げていきたい。
- ・調べたりない部分もあるので、調べ活動も継続させていきたい。
- ・あくまで僕たちのテーマは質の高い教育の実現性について

何れにせよ、新しい活動に積極的に手を出していくことで、探究活動がどうやって広がりを見せていくのかが楽しみである。

参考文献

- 1) <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/4-education/>
- 2) https://www.worldvision.jp/children/education_26.html#d0e9d87eb78fa54e47cd213ca7606442
- 3) https://gooddo.jp/magazine/sdgs_2030/quality_education_sdgs/4256/